

流域治水×グリーンインフラの推進について

令和4年3月28日

鈴鹿川外・雲出川外・櫛田川外・宮川外
流域治水協議会(合同協議会)

鈴鹿川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～国内有数の産業集積地を守る流域治水対策～

(素案)

※本資料は調整中のものであり、今後変更が生じる可能性がある。

■ 鈴鹿川の上流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】四日市市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、中下流部で水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施。
被害軽減のため、立地適正化計画（見直し）に基づく防災指針の検討や水害リスク情報の空白域解消等を実施。

【中期】鈴鹿市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、鈴鹿川第一、第二頭首工の改築を主に実施。
被害軽減のため、防災マップの周知や水防災教育、要配慮者施設の避難体制強化等を継続的に実施。

【中長期】亀山市街地や支川の浸水被害を防ぐため、頭首工・堰改築、河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
被害軽減の取り組みをあらゆる関係者と一体となって継続的に実施。

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
冠水できるだけ防ぎ減らすための対策	○洪水氾濫対策 ・堤防整備、堤防強化、河道拡幅、橋梁改築 等	三重河川国道事務所、三重県、四日市市、鈴鹿市	下流部堤防整備・河道掘削等	中流部堤防整備・河道掘削等	上流部+支川堤防整備・河道掘削等
	・鈴鹿川第一、第二頭首工、井原頭首工改築	三重河川国道事務所			
	○内水氾濫対策 ・下水道施設の整備、耐水化、浸水対策計画策定	四日市市、鈴鹿市、亀山市		鈴鹿川頭首工改築完了	井原頭首工改築完了
	○土砂災害対策 ・土砂災害対策施設の整備	三重県			
	○洪水の貯留機能の拡大 ・加圧調整池における事前放流等の実施、体制構築	水資源機構			
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・ため池等を活用した流出抑制・貯留機能の保全 ・森林整備・保全	林野庁、森林整備センター、三重県、四日市市、鈴鹿市、亀山市		ため池耐震化整備	森林整備・保全
被害対象を減少させるための対策	○水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫 ・安全なまちづくりに向けた取組を検討	三重県、四日市市、鈴鹿市、亀山市		立地適正化計画における防災指針の検討	
	○浸水範囲の限定・氾濫水の制御 ・二級堤等の保全	三重河川国道事務所			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	○土地の水災害リスク情報の充実 ・水害リスク情報の空白域の解消 (洪水・内水・高潮・ため池・HM策定・周知)	三重河川国道事務所、気象庁、三重県、四日市市、鈴鹿市、亀山市、他 あらゆる関係者	洪水予報及び水位周知河川以外の法河川における浸水想定区域の指定	ハザードマップの作成・更新	
	○避難体制等の強化 ・持続的な水災害教育の実施と伝承 ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・高齢者の避難行動への理解促進 ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供 ・企業等と連携した避難体制等の確保 ・SNS・広報誌等を活用した継続的な情報発信				
グリーンインフラ	○自然環境の保全・復元などの自然再生 ・希少野生淡水魚の保護増殖	亀山市			
	○健全なる水循環系の確保 ・森林整備による水源涵養機能の向上 ・農業用ため池の適正な管理と整備 ・都市農地の保全に伴う保水機能の向上 ・公園園路の浸透性保水機能の向上	林野庁、森林整備センター、三重県、四日市市、鈴鹿市、亀山市		公園園路の浸透性舗装（亀山市）	ため池の適正な管理・整備（四日市市、鈴鹿市） 森林整備・保全（林野庁、森林整備センター、三重県、四日市市、亀山市）
	○治水対策における多自然川づくり ・整備における生物の多様な生育環境の保全 ・縦断連続性の確保	三重河川国道事務所、三重県、亀山市			
	○魅力ある水辺空間・賑わい創出 ・水辺の賑わい空間創出	亀山市		森林の持つ多面的機能についてを学ぶ場の創出（亀山市）	水辺での遊び自然体験・学習の場創出（亀山市）
	○自然環境が有する多様な機能活用の取組み ・自然環境保全に関する協議会等の活動 ・民間協働による水質調査 ・小中学校などにおける河川環境学習	三重河川国道事務所、四日市市、亀山市			

【事業費】

■ 河川対策	※水系で策定済みの河川整備計画の残事業を記載
全体事業費	約540億円
対策内容	河道掘削、堤防整備、頭首工改築 等
■ 下水対策	※各市町の下水道事業計画の残事業を記載
全体事業費	約41億円
対策内容	下水道施設の整備等

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

～遊水機能を確保し三重の中心地域を守る流域治水対策～

※本資料は調整中のものであり、今後変更が生じる可能性がある。

- ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

雲出川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～遊水機能を確保し三重の中心地域を守る流域治水対策～

(素案)

※本資料は調整中のものであり、今後変更が生じる可能性がある。

■ 雲出川の上流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】津・松阪市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、中下流部で水位低下を目的とした河道掘削、堤防整備等を主に実施。
被害軽減のため、水害リスク情報の空白域解消等を実施。

【中期】津・松阪市街地等で重大災害の発生を未然に防ぐため、中流部左岸遊水地整備、堤防整備を主に実施。
被害軽減のため、防災・住まい方や土地利用に向けた取組の検討やマイタイムライン作成など避難行動の理解促進に向けた取組等を継続的に実施。

【中長期】上流域や支川の浸水被害を防ぐため、横断工作物改築、河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
被害軽減の取り組みをあらゆる関係者と一体となって継続的に実施。

【ロードマップ】

【事業費】

区分	対策内容	実施主体	短期	工程 中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	○洪水氾濫対策 ・河道掘削、堤防整備、堤防強化、横断工作物改築 等 ・遊水地整備	三重河川国道事務所、三重県、津市	下流部河道掘削・堤防整備＋中流部堤防整備		
	○内水氾濫対策 ・下水道施設の整備、調整池整備、排水ポンプ場の整備	津市、松阪市	上流部及び支川河道掘削・堤防整備		
	○土砂災害対策 ・砂防固施設等の整備	三重県	雲出川遊水地 整備完了		
	○流水の貯留機能の拡大 ・君ヶ野ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	三重県			
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・田んぼダムの活動に対する支援 ・森林整備・保全 ・ため池等の活用	林野庁、森林整備センター、三重県、津市、松阪市	田んぼダムの活動に対する支援		
被害対象を減少 させるための対策	○水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 ・住まい方や土地利用に向けた取組の検討	三重県、津市、松阪市	立地適正化計画における 防災指針の検討		
	○浸水範囲の限定・氾濫水の制御 ・二級堤、遊水機能の保全	三重河川国道事務所			
被害の軽減、 早期復旧・復興のための対策	○土地の水災害リスク情報の充実 ・水害リスク情報の空白域の解消 (洪水・内水・高潮・ため池HM策定・周知)	三重河川国道事務所、気象庁、三重県、津市、松阪市、地 方関係者	ハザードマップの作成・更新		
	○避難体制等の強化 ・持続的な水災害教育の実施と伝承 ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と 避難の柔軟性確保 ・高齢者の避難行動への理解促進 ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供 ・企業等と連携した避難体制等の確保 ・SNS・広報誌等を活用した継続的な情報発信		洪水予報及び水位通知河川以外の法河川 における浸水想定区域図の作成		
グリーンインフラ	○生物の多様な生態・生育環境の創出による生態系ネットワークの作成 ・産物のブランド化や付加価値の促進	津市			
	○健全な水循環系の確保 ・森林整備による水源涵養機能の向上 ・農業用ため池の適正な管理と整備 ・田んぼダムの活動に対する支援 ・雨水貯留・浸透施設による流出抑制	林野庁、森林整備センター、三重県、津市、松阪市	ため池の適正な管理・整備 (津市)		
	○治水対策における多自然川づくり ・整備における生物の多様な生育環境の保全 ・横断連続性の確保 ・支川と本川の連続性の確保	三重河川国道事務所、三重県、津市	香良洲高台防災公園整備完了 (津市)		
	○魅力ある水辺空間・賑わいの創出 ・人と川とのふれあいの場の確保 ・河川掘削土を活用した高台防災公園整備	津市	森林整備・保全 (林野庁、森林整備センター、三重県、津市、松阪市)		
	○自然環境が有する多様な機能活用の取組み ・生態機能を維持した遊水地整備 ・民間協働による水質調査 ・小中学校などにおける河川環境学習	三重河川国道事務所、津市、松阪市			

- 河川対策 ※水系で策定済みの河川整備計画の残事業を記載
全体事業費 約240億円
対策内容 河道掘削、堤防整備、遊水地整備 等
- 下水対策 ※各市町の下水道事業計画の残事業を記載
全体事業費 約85億円
対策内容 下水道施設の整備、調整池整備、ポンプ場整備

気候変動を
踏まえた
更なる
対策を推進

※各工程段階の実施内容は今後の事業進捗によって変更となる場合があります。
※各対策の旗揚げは代表的な事例を示しています。

櫛田川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～三重の基幹農業地域を守る流域治水対策～

(素案)

※本資料は調整中のものであり、
今後変更が生じる可能性がある。

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な発生したことを踏まえ、櫛田川流域においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 櫛田川水系においては、米作を中心とした農業が盛んで、流域全域が松阪牛生産地域である一方、氾濫域には国指定の史跡である斎宮跡など歴史をしのばせる面をもつ流域であり、洪水時の氾濫を防ぐための堤防整備や流域の避難体制強化などの事前防災対策を進める必要がある。
- これらの取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、観測史上最大となった平成6年9月洪水と同規模の洪水に対して、下流部において安全に流し、それを上回る戦後最大の昭和34年9月洪水（伊勢湾台風）と同規模の洪水に対して、下流部において堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、堤防整備、橋梁改築
- ・蓮ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国など）
- ・ため池、農地等を活用した流出抑制・貯留機能の保全
- ・土砂災害対策施設の整備
- ・流域伐採木のバイオマス発電への利活用
- ・森林整備・保全 等

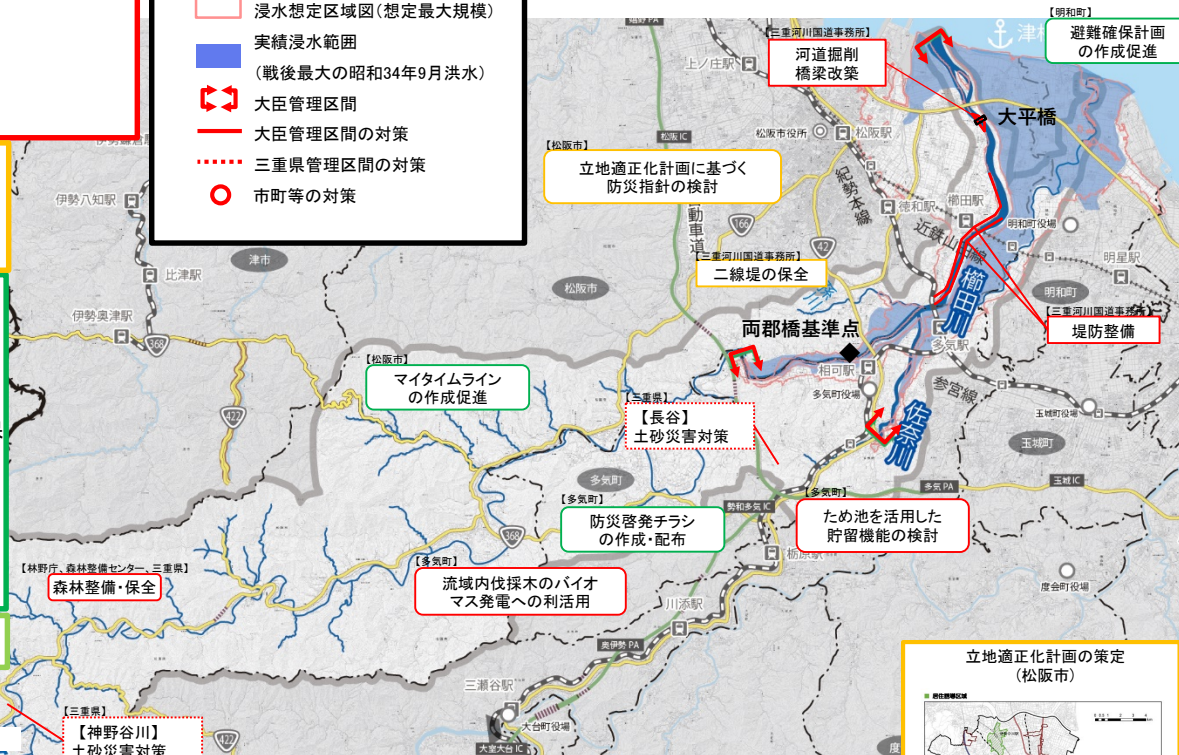
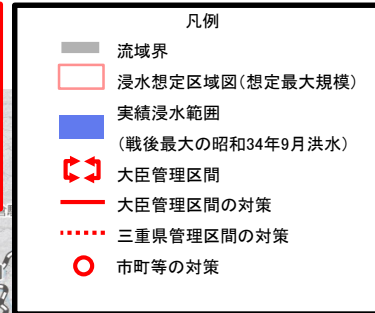
■被害対象を減少させるための対策

- ・関係者と連携し、防災・減災のための土地の在り方に向けた取組を検討（立地適正化計画における防災指針の検討）
- ・二線堤等の保全 等

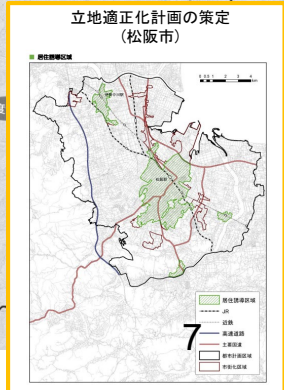
■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク情報の空白域の解消（洪水・内水・高潮・ため池ハザードマップなどの策定・周知）
- ・持続的な水災害教育の実施と伝承（水災害を想定した防災訓練等の実施）
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・高齢者の避難行動への理解促進（マイタイムラインなどの個人防災計画の作成）
- ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供（水位計・監視カメラ等の設置、防災気象情報の改善）
- ・企業等と連携した避難体制等の確保
- ・SNS・広報誌等を活用した継続的な情報発信 等

■グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ



位置図



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

櫛田川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～三重の基幹農業地域を守る流域治水対策～

(素案)

※本資料は調整中のものであり、
今後変更が生じる可能性がある。

■ 櫛田川の上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】松阪市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、下流部左岸における堤防整備等を主に実施。
あわせて、ため池を活用した貯留機能に関わる検討や、被害軽減のため、水害リスク情報の空白域の解消等を実施

【中期】松阪・明和市街地等で重大災害の発生を未然に防ぐため、下流部右岸堤防整備を主に実施。
被害軽減のため、マイタイムラインなど避難行動の理解促進にむけ取組等を実施。

【中長期】中上流域や支川等の浸水被害を防ぐため、樹林伐採等の維持管理に実施し、流域全体の安全度向上を図る。
被害軽減の取り組みをあらゆる関係者と一体となって継続的に実施。

【ロードマップ】

【事業費】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
冠水までできるだけ 防ぐ・減らすための対策	○洪水氾濫対策 ・河道掘削、堤防整備、橋梁改築 等	三重河川国道事務所、三重県、多気町	下流部堤防整備		下流部堤防整備＋中流部堤防整備
	○樹木伐採のコスト削減に向けた取組 ・流域内伐採木のバイオマス発電への利活用	多気町			
	○土砂災害対策 ・砂防固係施設の整備	三重県			
	○洪水の貯留機能の拡大 ・運ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	運ダム管理所			
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・ため池を活用した貯留機能に関わる検討 ・雨水流出抑制技術指針の策定 ・森林整備・保全	林野庁、森林整備センター、三重県、松阪市、多気町	ため池の活用検討	雨水流出抑制技術指針の作成	森林整備・保全
被害対象を減少 させるための対策	○水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 ・防災・減災のための土地の在り方に向けた取組を検討	三重県、松阪市			立地適正化計画における 防災指針の検討
	○浸水範囲の限定・氾濫水の制御 ・二級堤等の保全	三重河川国道事務所			
被害の軽減、 早期復旧・復興のための対策	○土地の水災害リスク情報の充実 ・水害リスク情報の空白域の解消 (洪水・内水・高潮・ため池HM策定・周知)	三重県、松阪市、多気町、明和町、他 あらゆる関係者	ハザードマップの作成・更新		
	○避難体制等の強化 ・持続的な水災害教育の実施と伝承 ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と 避難の実効性確保 ・高齢者の避難行動への理解促進 ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供 ・企業等と連携した避難体制等の確保 ・SNS・広報誌等を活用した継続的な情報発信		洪水予報及び水位周知河川以外の法河川 における浸水想定区域図の作成		
グリーンインフラ	○自然環境の保全・復元などの自然再生 ・氾濫原・湿地環境の保全・再生 ・縦断連続性の確保	三重河川国道事務所	堰・頭首工における遡上機能の向上 (三重河川国道事務所)		
	○健全なる水循環系の確保 ・森林整備による水源涵養機能の向上 ・ため池の活用検討 ・運ダムにおける土砂還元	運ダム管理所、 林野庁、森林整備センター、 三重県、多気町	森林整備・保全 (林野庁、森林整備センター、三重県、津市、松阪市)		
	○治水対策における多自然川づくり ・整備における生物の多様な生育環境の保全	三重河川国道事務所、 三重県	ため池の活用検討 (多気町)		
	○自然環境が有する多様な機能活用の取組み ・地域と連携した自然環境保全に関する協議会等の活動 ・民間協働による水質調査 ・小中学校などにおける河川環境学習 ・流域内伐採木のバイオマス発電への利活用	三重河川国道事務所、 松阪市、多気町、明和町			

■河川対策

※水系で策定済みの河川整備計画の残事業を記載
全体事業費 約66億円
対策内容 河道掘削、堤防整備等

気候変動を
踏まえた
更なる
対策を推進

宮川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～「神宮」の地に暮らす人々の命と観光産業を守る宮川(勢田川)流域治水対策～

(素案)

※本資料は調整中のものであり、今後変更が生じる可能性がある。

●グリーンインフラの取り組み 『我が国屈指の清流と伊勢の歴史・文化を活かした水辺空間の保全・創出』

- 干潟や塩性湿地を有する河口部、砂礫河原、ワンド・たまり等の環境、連続する瀬淵、河畔林といった水辺環境は変化に富み、高水敷には公園等が整備され河川利用が盛んとなっている。また、我が国屈指の清流として良好な河川水質を維持しているほか、伊勢神宮にまつわる祭事が行われてきた歴史や名勝「宮川堤」を有する等、宮川水系は次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境や歴史文化が多く存在しています。
- 伊勢神宮等の歴史や文化にまつわる水辺を活かした地域・観光振興に寄与することを目指し、今後概ね3年間（令和5年度）で水辺空間の創出や拠点化の取り組みを進めるなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

●健全なる水循環系の確保

森林整備による水源涵養機能の向上
農業用ため池の適正な管理と整備

●治水対策における多自然川づくり

整備における生物の多様な生育環境の保全
桜並木の保全
伊勢神宮等の歴史や文化にまつわる空間の保全
グリーンボンドを活用した水際植生・河川生物の保全

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

水辺の楽校（整備・維持）
人と川とのふれあいの場の確保（宮リバー度会パーク）

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

自然環境保全に関する協議会等の活動（宮川流域ルネッサンス協議会）
小中学校などにおける河川環境学習
民間協働による水質調査
流域内伐採木のバイオマス発電への利活用

【全域に係る取組】

地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

※位置図に掲載している「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（赤枠）」は、グリーンインフラを兼ねた取組である。

位置図



河川空間利用促進（宮リバー度会パーク）（度会町）



（覆土ブロック整備中）



（護岸整備後の植生状況イメージ）



たまき水辺の楽校（三重河川国道事務所、玉城町）

宮川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～「神宮」の地に暮らす人々の命と観光産業を守る宮川(勢田川)流域治水対策～

(素案)

※本資料は調整中のものであり、今後変更が生じる可能性がある。

■ 宮川の上流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】伊勢中心市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、勢田川で河道掘削、内水対策等を主に実施。
被害軽減のため、立地適正化計画（見直し）に基づく防災指針の検討や水害リスク情報の空白域解消等を実施。

【中期】伊勢市街地等で重大災害の発生を未然に防ぐため、左右岸堤防整備、大湊川耐震対策を主に実施。
被害軽減のため、企業と連携した避難体制強化や災害情報等の早期把握・提供等を実施。

【中長期】伊勢市、玉城町の浸水被害を防ぐため、左岸堤防整備、勢田川狭窄部対策を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
被害軽減の取り組みをあらゆる関係者と一体となって継続的に実施。

【ロードマップ】

【事業費】

■ 河川対策 ※水系で策定済みの河川整備計画の残事業を記載

全体事業費 約258億円
対策内容 河道掘削、堤防整備等

■ 下水道対策 ※各市町の下水道事業計画の残事業を記載

全体事業費 約20億円
対策内容 下水道施設の整備

区分	対策内容	実施主体	短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぎ減らすための対策	○洪水氾濫対策 ・河道掘削、堤防整備、橋梁改築 等 【勢田川流域等洪水対策実行計画】 ・河道掘削、排水機場ポンプ増強 ・河道掘削、河川整備 ・河川整備、下水道整備	三重河川国道事務所、三重県、伊勢市、玉城町、度会町 三重河川国道事務所 三重県 伊勢市		宮川橋架設完了	
	○樹木伐採のコスト削減に向けた取組 ・流域内伐採木のバイオマス発電への利活用	多気町			
	○土砂災害対策 ・砂防関係施設の整備	三重県			
	○洪水の貯留機能の拡大 ・利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	三重県、中部電力(株)			
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・森林整備・保全 ・ため池等を活用した流出抑制・貯留機能の保全	林野庁、森林整備センター、三重県、伊勢市、多気町、大台町、度会町、大紀町		森林整備・保全	
	○水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 ・安全なまちづくりに向けた取組を検討	三重県、伊勢市		立地適正化計画における防災指針の検討	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	○土地の水災害リスク情報の充実 ・水害リスク情報の空白域の解消 (洪水・内水・高潮・ため池HIM策定・周知)	三重河川国道事務所、気象庁、三重県、伊勢市、多気町、玉城町、大台町、度会町、大紀町、他あらゆる関係者		洪水予報及び水位周知河川以外の法河川における浸水想定区域図の作成	
	○避難体制等の強化 ・持続的な水災害教育の実施と伝承 ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・高齢者の避難行動への理解促進 ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供 ・企業等と連携した避難体制等の確保 ・SNS・広報誌等を活用した継続的な情報発信				
	○経済被害の軽減 ・災害からライフラインを守る事前伐採	大台町			
	○健全なる水循環系の確保 ・森林整備による水源涵養機能の向上 ・農業用ため池の適正な管理と整備	林野庁、森林整備センター、三重県、伊勢市、玉城町、大台町			ため池の適正な管理・整備(伊勢市、玉城町、大台町)
グリーンインフラ	○治水対策における多自然川づくり ・整備における生物の多様な生育環境の保全 ・桜並木の保全 ・伊勢神宮等の歴史や文化にまつわる空間の保全 ・グリーンボンドを活用した水際緑化・河川生物の保全	三重河川国道事務所、三重県		森林整備・保全(林野庁、森林整備センター、三重県、伊勢市)	
	○魅力ある水辺空間・賑わい創出 ・水辺の学校(整備・維持) ・人と川とのふれあいの場の確保	三重河川国道事務所、玉城町、大台町		たまき水辺の乗校完成(三重河川国道事務所、玉城町)	
	○自然環境が有する多様な機能活用の取組み ・自然環境保全に関する協議会等の活動 ・民間協働による水質調査 ・小中学校などにおける河川環境学習 ・流域内伐採木のバイオマス発電への利活用	三重河川国道事務所、三重県、伊勢市、多気町、玉城町			

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※各工程段階の実施内容は今後の事業進捗によって変更となる場合があります。
※各対策の旗揚げは代表的な事例を示しています。